

平成 27 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 28 年 2 月 1 日

学 長 殿

所属部局・職名 共生システム理工学類准教授

申 請 者 名 川越 清樹

<p>助成事業の区分 (該当するものに○印)</p>	<p>研究協力に関する事業 (学会等助成) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)</p>
<p>事 業 名</p>	<p>平成 27 年度 東北地域災害科学研究集会</p>
<p>事業実施期間</p>	<p>平成 28 年 1 月 8 日 ～ 平成 28 年 1 月 9 日</p>
<p>成果の概要</p>	<p>助成金の支援もあり、日本自然災害学会東北支部主催による平成 27 年度東北地域災害科学研究集会を、杉妻会館で平成 28 年 1 月 8 日から 9 日の期間に開催された。2 日間開催に延べ人数約 200 人の研究機関や行政機関の関係者が集い、最新の災害研究に関する発表と質疑がなされた。本来であれば本学での開催も検討すべきところであったが、行政機関で勤務する方々が比較的に臨機応変に参加できる場所という設定もあり、災害の問題を行政機関関係者と討議できたことは、災害対応を考える上で大きな収穫となった。また、研究集会期間中には福島大学共催によるシンポジウム(地球・社会環境遷移の影響下での災害を考えるー災害に対してどのように適応していくかー)が開催され、気候変動(温暖化)、火山、放射能汚染による多様な要因による災害に関する講演が行われた。このシンポジウムでは、実務の最前線で災害対応されているコーディネーターを招き、研究と実務の接点に総合討議も行われ、学識経験だけで一定の解を求めることのできない問題に対しての深い討議がなされた。「災害」自体が、住民もふまえて防災活動を行わなければならないものであり、災害研究の中の一意的な成果の公表だけでなく、意見の交流をすすめていくことが肝要だが、この目的が達成できた有意義な場となった。</p>



シンポジウムパンフレット



写真 研究集会の様子

